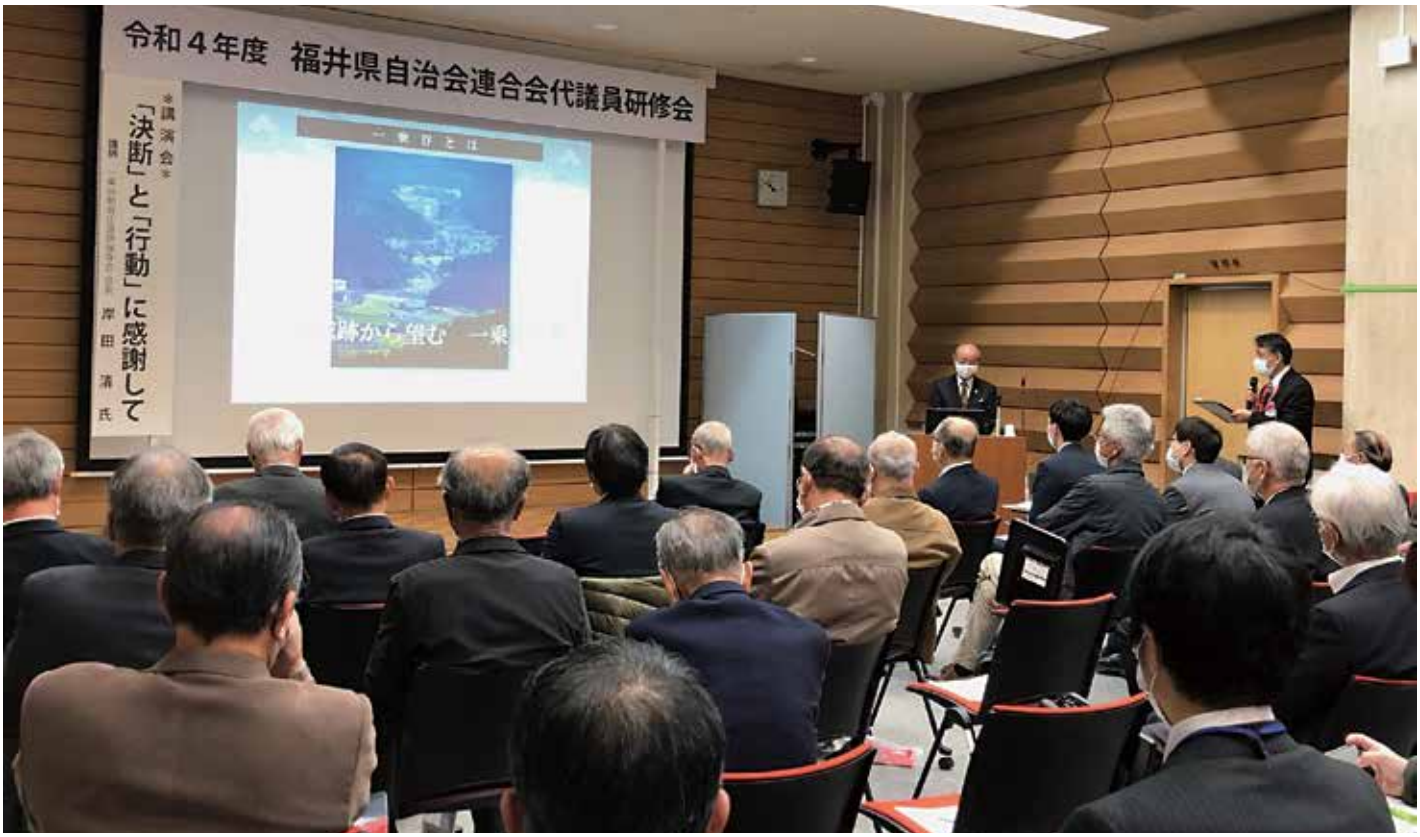
福井市自治会連合会

自治会だより

第18号
令和５年７月１日発行



福井県自治会連合会代議員研修会を福井市で開催しました。(令和4年11月25日　福井県立一乗谷朝倉氏博物館旧館)

ごあいさつ

福井市自治会連合会　会長　奥村清治

盛夏の候、自治会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素は、本会の運営及び活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更されたことにより、これまで中止や規模縮小を余儀なくされていた各地区の行事や自治会活動は本格的に再開され、ようやく地域に賑わいが戻ってきたと感じております。このような地域の賑わいは、住民同士の絆を深めるとともに私たちの生活に安全と安心をもたらすものとなります。

皆様方には今一度、自治会は地域の防災、防犯、福祉、環境美化等の地域活動の中心として、大きな役割を果たす重要な組織であることを再認識していただき、今後も、日頃から顔の見えるお付き合いを通じた信頼関係を築き、「いざ」という時に助け合える地域づくりを進めていただくことをお願いいたします。

さて、役員の負担軽減や、災害発生時における迅速な安否確認などの観点から、自治会運営にデジタル技術を活用することについての関心は年々高まっており、市内でも回覧板の電子化や自治会活動の見える化を目的に、自治会運営にデジタル化を取り入れる地区や自治会が増えています。

今年度も引き続き市と連携し、デジタル技術の活用と効率的な自治会運営について研究し、自治会への導入に対する支援をしていきたいと考えています。

また自治会の基盤強化を図るため、今年度も未加入者に対する加入促進と自治会の維持存続に向けた合併促進についても取り組んでいきます。

今後も各地区での連携や情報交換を進め、住民相互で支え合う自治会組織の発展に取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和５年度 福井市自治会連合会 総会

３月２０日(月)に、東村新一市長及び村田市議会副議長をご来賓に迎え、福井市自治会連合会総会を開催しました。同日に、長年にわたり自治会長等として活躍された方々に対し、福井市住民自治功労者表彰及び福井市自治会連合会表彰を行いました。

議長に村嶋　哲郎氏（棗地区）を選出し、令和４年度の事業報告・収支決算、令和５年度の補充役員の承認、事業計画・収支予算について審議し、いずれも承認されました。

また、欠員となっていた副会長の選出が行われ、新たに宮﨑　伸市氏（和田地区）が承認されました。

令和５年度 事業計画

1　会議の開催
2　顕彰事業
3　研修事業
　①自主研修会や視察研修の実施
　②福井県自治会連合会研修会への参加
4　住民自治振興事業
　①自治会だよりの発行
　②不死鳥のねがい「福井市市民憲章」の普及と実践
5　市への情報伝達や提言
　①「市長と語る会」の開催
　②市政懇談会の開催
6　自治会未加入世帯の加入促進
　①11月を自治会加入促進月間と定め、未加入世帯に対する加入促進
　②自治会加入促進の標語を募集
　③自治会加入を促すポスター等の作成
7　大規模災害発生に伴う義援金募集活動
8　全国自治会連合会福井県福井大会の開催準備事業
　（令和６年度に全国自治会連合会の全国大会を福井市で開催する準備事業）
9　その他
　①福井県自治会連合会への参加協力、中部自治会連絡協議会、全国自治会連合会
　②他の住民自治組織からの視察等の受け入れ
　③各種団体・委員会等への参加及び役員派遣
　④地区自治会連合会相互の情報交換

訃報

当自治会連合会副会長　遠田公一様が、かねてより病気療養中のところ令和４年１０月にご逝去されました。

遠田様は、松本地区自治会連合会長として、地区住民からの信望も厚く、住民自治の振興と地域の発展に大変ご尽力され、特に、防犯、防災に関する活動には大きな功績を残されました。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

住民自治・自治会関係の表彰受賞者

（敬称略）

令和４年度 **全国自治会連合会会長表彰**
（自治会長10年以上）

村本　治彦（殿下）

＜自治会長等歴＞
H７～現在　風尾町自治会長
H29～現在　殿下地区自治会連合会長、福井市自治会連合会理事、福井県自治会連合会代議員

福井県自治会活動功労者知事表彰（R5）

「個人表彰」
河端美津夫（　湊　）　山口　光孝（森　田）

「団体表彰」
中藤島自治会連合会（中藤島地区）
半田町活性化委員会（文殊地区）

福井県自治会連合会表彰（R5）

「代議員５年以上」
矢谷　博和（越　廼）

「自治会長１０年以上」
吉川　利夫（和　田）　水上日出美（国　見）

福井市住民自治功労者市長表彰（R5）

「地区自治会連合会役員 10 年以上（表彰状）」
二ツ木和夫（日之出）

「行政嘱託員１０年以上（表彰状）」
吉川　利夫（和　田）　水上日出美（国　見）

福井市自治会連合会表彰（R5）

「地区連合会長・ブロック長等３年以上」
千秋　利榮（順　化）　松浦健一郎（順　化）
青木　敏雄（　湊　）　藤田　和也（　湊　）

「自治会長５年以上」
坪田　守弘（宝　永）　山本　邦紀（宝　永）
元結　一郎（　湊　）　河上　敬則（　湊　）
小林　秀樹（　湊　）　佐々木孝治（　湊　）
安達　正晴（　湊　）　西田　　茂（木　田）
橋野貴美江（清　明）　髙崎　弘之（足　羽）
川島　良男（足　羽）　木林　宏次（春　山）
田村　利彦（　旭　）　細田善二郎（　旭　）
吉住　幸則（西安居）　嶋田　　茂（西安居）
大石　和生（美　山）　佐々木重興（美　山）
前田　正治（美　山）　清水　　武（美　山）
舜　　利美（美　山）　髙橋　孝賢（美　山）
藤田　　修（清水南）

「自治会長 15 年以上」
河端美津夫（　湊　）

令和５年度　福井市自治会連合会役員

役職	氏名	地区
会長	奥村清治	清明
副会長	辻元	木田
	松平久芳	日之出
	宮﨑伸市	和田
常任理事	山崎栄一	上文殊
	髙松武法	美山
	泉和弥	岡保
	野坂正義	啓蒙
	河端美津夫	湊
	金子彰	豊
	水上日出美	国見
	二丹田博	大安寺
	安達弘幸	明新
	桒野正則	森田
	田中知司	清水東
	森川賢	清水西
	橋本鉄弥	日新
	野尻正紀	宝永
	吉田康彦	麻生津
常任理事	掛谷龍一	社南
理事	伊與初夫	一乗
	寺前和夫	酒生
	髙田正人	東郷
	川端智雄	文殊
	片山正人	六条
	高村成二	円山
	髙橋健二	東藤島
	南光明	和田
	坂井國夫	足羽
	岩永弘行	木田
	五十嵐健次	鶉
	水間俊一	鷹巣
	村嶋哲郎	棗
	豊岡正	本郷
	時澤宗一	宮ノ下
	川瀬恭寛	河合
	屋敷大作	中藤島
	嵯峨直嗣	西藤島
理事	矢谷博和	越廼
	前川有也	清水北
	小林甲子	清水南
	村本治彦	殿下
	吉住幸則	西安居
	水野新一	旭
	江川政博	順化
	吉田英治	春山
	粟田滋	日之出
	大瀧毅郎	松本
	松並利夫	清明
	北末藏	東安居
	西本真	社北
	上野公生	社西
監事	野路辰弥	啓蒙
	野路益伸	文殊
	岩堀孝夫	清水北

福井市自治会連合会視察研修を行いました

＜視察概要＞
日　時：令和４年６月２３日(木)
参加者：福井市自治会連合会理事等　２０名
内　容：上志段味（かみしだみ）自治会との意見交換会（愛知県名古屋市守山区）

【上志段味自治会との意見交換】

上志段味自治会は、13の地域自治会と１つのエリアで構成され、合わせて約2,200世帯の会員によって組織されている地区連合会です。

平成５年から始まった区画整理事業により、20年間で地元の人口が４倍にまで増加したことから、自治会では若い世代を取り込み、新旧住民の繋がりをつくるという最大の課題を解決することが急務となった地区でした。

人口増加と急増する子育て世代に対応できるよう自治会活動の見直しを行うとともに、災害時の迅速な情報発信を一番の目的にIT推進チームを立ち上げ、地域情報をスマートフォンなどから受け取れるシステムの構築やホームページの更新をおこなったと伺いました。

自治会活動の見える化と住民の繋がりを図るおしゃれなデザインの情報発信は、県内外の自治会関係者からも注目を集めています。

また、自分たちの地区は自分たちで楽しいものにしていこう！と活動する「ゆるさぽ」（左側チラシ参照）という支援団体を立ち上げ、スマートフォン教室の開催をはじめ、世代を超えた交流の場の創出を行っていました。

意見交換では、

【デジタル化によるメリット】
・自治会長や役員業務の負担が軽減した
・自治会で行っている活動が住民に届きやすくなった
・住民からの自治会への声が届きやすくなった（インターネットを利用した匿名アンケート実施）
・災害時や緊急情報を迅速に発信し、入手できる

【デジタル化によるデメリット】
・自治会のイベントに実際参加しなくても、インターネットから参加できるため、自治会会員である意識の薄れに繋がる恐れがある
・更新作業が特定の人物しかできないため、今後人材発掘が課題となっている　などが挙げられました。

（写真）上志段味自治会との意見交換の様子

上志段味自治会のホームページ↑

地域住民主体で自分たちの地域を楽に、楽しくしていくという観点で、大切なポイントを学ぶことができました。

福井市自治会連合会代議員研修会を福井市で行いました

＜視察概要＞
日　時：令和４年１１月２５日(金)
場　所：福井県立一乗谷朝倉氏博物館旧館
　　一乗谷朝倉氏遺跡博物館・一乗谷朝倉氏遺跡復原町並
参加者：福井県自治会連合会代議員
内　容：福井の歴史的観光資源について研修を行いました。
　　一乗谷朝倉氏遺跡保存協会の岸田会長から「一乗谷朝倉氏遺跡発掘の秘話」についてご講演いただき、福井県を代表する大変貴重な資源としてより深い知識を得ることができました。また、現地視察を行い北陸新幹線福井開業に向けた、観光地の広報活動という観点で、重要な観光スポットであることを再確認することができました。

（写真）代議員研修会の様子

自治会活動のデジタル化について（参考事例）

自治会長業務の効率化や、長引く新型コロナウイルス感染症対策の観点により、自治会活動にデジタル技術を導入する動きが注目されています。

例えば、回覧板の電子化や総会資料をファイルで電子送信するなどの、活用方法が考えられます。

このような活用により、情報を迅速に発信でき、事務の効率化や負担軽減にも繋げることができます。

また、災害時の安否確認や避難に関する情報共有にも活用できると考えられるため、まずはみなさんの自治会でもLINEなどを活用してみませんか。

【自治会活動にＳＮＳやアプリを活用するメリット】

①回覧板からスマホへ

- 自治会からのお知らせが直接配信されるので、情報が届くまでの時間差が生じません。
- 過去に配信されたデータも残るため、イベントのチェック漏れがなくなります。
- 必要な情報がいつでも、どこでも確認できます。

②書類送付や出欠集計等の負担軽減に

- 会員や班ごとの資料の仕分けや配布の手間が削減されます。
- 各種行事の出席・欠席者の確認、集計が簡単に行えます。
- 総会等の書面議決に代わり、電磁的議決も可能となります。

③災害時の安否確認や緊急連絡に

- 既読状況や通知をもとに会員の安否確認が可能となります。
  （位置情報と連動した現在地の発信が可能なアプリもあります）
- 日ごろから使い慣れた画面のため、災害時でもスムーズに操作が可能です。
- 自治会内での訃報やその他緊急連絡事項などの迅速な発信が可能です。

【回覧板や情報伝達方法について（地区の事例）】

■回覧板をデジタル化（昭和新町自治会（鶉地区））

自治会長の負担軽減や新型コロナウイルス感染予防を目的に、これまで回覧板で知らせていた情報を、「ＬＩＮＥ」を活用し、電子回覧化。「ＬＩＮＥ」の連絡網ができたことで、気軽に情報交換ができ、コミュニケーションも深まった。

■「ＬＩＮＥ公式アカウント」を活用した地域コミュニティ活動の発信（河合地区）

花火大会やコンサートなど地区のイベント内容を動画で発信し「地域活動の見える化」を行っている。また、不審者情報や、有害鳥獣出没による注意喚起など緊急性のある情報を迅速に伝えることが可能になった。

さらに、認知症高齢者の地域での見守り支援としても活用している。

■地区自治会連合会内の回覧物を電子化（円山地区）

自治会長等の負担軽減や自治会会員の利便性向上などを目的に、公式アカウントを作成し回覧物の電子化。地区の小学校からの回覧資料もデータで伝送されるため、紙資料では白黒写真だったものが、カラー写真となり見やすくなったとともに、印刷代の費用削減にも繋がっている。

■デジタル回覧板で高齢者の見守り（石川県野々市市丸木町会）（令和4年5月25日　北國新聞）

地域情報共有アプリ（有料）を活用し、75歳以上の一人暮らしや高齢者世帯の見守りを行っている。行事やごみ収集日のお知らせを電子送信し、「既読」か「未読」の確認で安否確認を行っており、民生委員との情報共有も図っている。

※各地区でのデジタル化に対する取り組みを、ぜひまち未来創造課までお知らせください。
デジタル化したことで良かった点などを共有することで、各地区自治会でデジタル化を検討するきっかけとなります。ＦＡＸまたはメールなどでご連絡ください。いただきました事例につきましては、ホームページで随時ご紹介していきます。

■ FAX：20−5733　　■ メールアドレス：machi-m@city.fukui.lg.jp

自治会加入促進活動の取組について

昨年度に引き続き、市と連携し、自治会未加入世帯の加入促進に取り組みます。ご近所で自治会に加入されていない方がいらっしゃいましたら、是非お声掛けをお願いします。

なお、自治会加入の利点をまとめましたので、お声掛けの際に参考にして下さい。

◆住民同士の繋がりが増えることで、日常生活に安心と笑顔が増えます。

地域行事に参加することで、子どもから高齢者まで、幅広い世代と交流でき、顔見知りとなり、いざという時に助け合える関係を築くことができます。

◆安全安心で住みやすい地域環境づくりが進みます。

自治会では、自主防災組織を結成し、防災訓練や防犯パトロール活動などを行っています。

地域住民を把握していると、災害発生時に、どのような援助が必要なのか判断できることから、被害の未然防止に繋がります。

◆地域の課題を解決できます。

地域内でお困りのこと（例：防犯灯の設置や道路・河川の整備など）がある場合、自治会を通して地域全体の課題として行政に相談できます。

＜自治会の標語を募集します＞

応募締切：令和5年8月31日（木）必着

自治会に入ってよかったと思うことや、ご近所や地域の方々と顔見知りになったことで、人の温かさや絆を感じた場面などを標語にして下さい。みなさんの作った標語で、自治会加入を呼びかけましょう！

★応募資格／子供から大人まで**どなたでも応募できます。**

★テーマ／自治会、まちづくり、地域力、助け合い、子育て、治安、防災、除雪など

★文字数／特に制限はありません。

★応募数／**１人何点でも応募できます。**（ただし、応募作品は未発表のものに限ります。）

★提出先／福井市自治会連合会事務局（福井市まち未来創造課内）・各連絡所・各公民館

★応募用紙／**本ページ下の応募用紙をお使いください。FAXやメール、はがきでも受け付けますが、その際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。**

応募用紙は各連絡所や各公民館にもあります。

★問い合わせ先／〒910-8511　福井市大手３丁目10-1
福井市自治会連合会事務局　（福井市まち未来創造課内）　標語募集係
TEL　0776-20-5230　　メール：machi-m@city.fukui.lg.jp

★審査／最優秀作品と優秀作品を選びます。（入選者には、表彰式で賞状と商品券を贈呈する予定です）
※最優秀作品は、今後の自治会加入促進活動で活用します。

★結果発表／令和５年１０月下旬頃、入選者に郵便にて通知（ＨＰでも発表します）

★著作権の扱い／応募作品の著作権等すべての権利は福井市自治会連合会に帰属します。
福井市役所のＨＰのまち未来創造課のページにも上記内容を掲載していますので、こちらからも応募できます。

応募フォームはこちらから

令和４年度の受賞作品

最優秀賞　「自治会で　育む絆　まち守る」

優秀賞
「世代超え　地域の絆　つながる輪」
「自治会で　助け合おう　つながろう　心の和」
「災害時　自治会団結　地域の力」
「地域の和　自治会加入　皆笑顔」

-- き・り・と・り・せ・ん --

自治会加入促進　標語　応募用紙

（何点でも応募できます）

・

・

・

住所	氏名	TEL

※標語応募事業以外には使用しません。

自治会についてのお問い合わせ

福井市総務部未来づくり推進局まち未来創造課
福井市自治会連合会事務局（福井市まち未来創造課内）
福井市大手3丁目10-1
TEL.20-5230／FAX.20-5733
メール machi-m@city.fukui.lg.jp